

『一瞬を一生に！』

フェスタ文化発表の部

～経験値はいつかカタチになる～



2026. 9. 17

シルバーウィークを挟んで、すでに懐かしさすら感じる、リハーサル後の記憶。

79th それぞれが、持ち場立場の責任を果たしつつ、9月18日の本番に臨みました。

「ああしようか」「こうしてみたらどうだろう」 大道具小道具さん、背景さん、衣装さん、照明さん、音響さん、影アナさん。創意工夫をカタチにしてくれました。そこには大道具小道具の妙、舞台を覆う大きな背景と、照明が醸し出す色鮮やかな効果(写真の空は黄昏色)、絶妙なタイミングの音響テクニクなど、スタッフさんの舞台効果は、台本を際立たせていました。

そこに映えたキャストの皆さん。初めて台本を見て驚きましたが、長い台詞も3年目の経験が実を結びましたね。台本を手にした立ち稽古から、台本なしのリハまで。練習期間もタイトでしたが、ただ本番に向けて積み重ねた成果が存分に発揮できました。それは、台詞の一つひとつが、観る人の身体に染み込んでいくような感覚があったからです。

高校の文化祭は、合唱、演劇、お笑い、バンド演奏などの舞台発表、検便検査しての模擬店、お化け屋敷はじめ創意工夫の展示などが待っています。柴中キャリアが活かれますように。

第3回実力テスト

10月21日(水)

① 数 ②理 ③英 ④国 ⑤社
チャレンジテストの結果で、学年の
評定平均の範囲が決定されます。

「今でも忘れられない先生との思い出」
高校で書道を選択しました。みんなで一生懸命墨を磨っている
と先生が「不幸があつたとき、どうして薄墨を使うかわかる？」
と問われました。私たちは「濃いと失礼だから」しか浮かびません
でした。すると先生は静かにおっしゃいました。「墨を磨っていて悲
しくて涙が止まらないとする。するとどうだろう。いつまでも墨は
濃くならないだろう。そういうことだよ」と。
教養ってこういうことなんだなあと、すつと腑に落ちました。
授業で聴いた話が君らの中で芽吹くことがあれば、うれしいな。

保護者の皆様へ

御礼とお願い

平素は教育活動にご理解ご協力ありがとうございます。フェスタ
を終えますと、この二学期は進路
保護者説明会や進路決定に向け
ての懇談会など、学校へお運びい
ただく機会が多くなります。

恐れ入りますが、できる限り17
時までの対応にご協力いただきた
きますようよろしくお願いいたします。

日	曜	10月の行事
1	木	★中間テスト①理科②国語③英語
2	金	★中間テスト①自習②社会③数学④団活動
3	土	
4	日	
5	月	各委員会
6	火	③学年別練習 係会議
7	水	③④フェスタ全体練習 ⑤⑥団活動
8	木	生徒議会
9	金	①～④予行 ⑤⑥団活動
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	45×6
14	水	50×3 給食あり
15	木	⑤団活動リハ ⑥前日準備
16	金	フェスタ スポーツ発表の部
17	土	
18	日	
19	月	後期時間割開始 ★卒業アルバム撮影
20	火	フェスタ予備日
21	水	★第3回実力テスト 数 理 英 国 社
22	木	
23	金	英語力テスト(GTEC)①～④
24	土	
25	日	
26	月	★給食なし
27	火	生徒会選挙予行
28	水	生徒会役員選挙
29	木	★進路保護者説明会 15:45～
30	金	学級委員選出
31	土	

シルバーウィークを経て、明けた9月24日がテスト1週間前というタイトな日程。テスト範囲も
予定通り案内されました。また柴中フェスタスポーツ発表の部の結団式も25日(金)に行われ、ま
さにダンスの稽古を含めた文武両道の間テスト期間となりました。文化発表、スポーツ発表とも
に、納得の締めくくり。そしてスムーズな受験勉強への移行に向けて、学年団で支えてまいります。

来年度へと引き継がれる柴島中学校フェスタの伝統は、ブラッシュアップの止まることのない流
れを生み出していると感じます。

顔晴れ！79期生！ 天晴れ！79期生であれ！